

徒長対策として

(資)農業技術研究会

徒長の原因として、2つのタイプが考えられます。

●タイプ1

チッソが過剰な場合

お酢を使用するとよい。1反当たり 1.8Lを灌水する。酢は安い穀物酢が良い。

目的としては、炭水化物としての酢でダブっていたチッソとの相対比C/Nのバランスを取り、それを細胞に変える方法が良い。

チッソはアンモニアになり光合成でできる炭水化物と合成されアミノ酸に変化しますが、その時に炭水化物（植物の繊維類となる）が不足しますと、チッソがだぶついた症状になります。チッソと炭水化物のバランスを取ることが大切です。その為、酢を10aあたり1.8L～1Lを灌水時にチッソのだぶつきが改善されるまで流すことは大変良い方法です。

増収を狙いたいのにチッソを減少させるのでは、収量が取れません。炭水化物を増やす方法でバランスを取ると増収、品質向上も同時に有効になります。

●タイプ2

生理的な徒長の場合

チッソが過剰でないのに徒長する場合に考えられること。

第一磷酸カルシウムと苦土を3:1の割合で散布する。

1反当たり、3kg:1kgが目安ですが、場所によって考慮して下さい。

バイオパワー液は、常時使用し、バイオパワー光は、5～7日毎に使用して下さい。

各々、1ヶ月、10aあたり18Lを必ずご使用下さい。

作物が小さい場合は、加減して下さい。